

特別展「キトラ古墳壁画」について（報告）

東京国立博物館において、これまで進めてきたキトラ古墳壁画の修理や、今後の保存活用の展開を広く国民に紹介し、一層の理解を得ることを主な目的として、キトラ古墳壁画の特別公開を実施した。

1. 期 間：平成26年4月22日（火）～5月18日（日）
開館時間午前9時30分～午後5時
（金曜は午後8時，土日祝休日は午後6時閉館，入館は閉館の30分前まで）
休館日 月曜日（ただし4月28日，5月5日は開館，5月7日は休館）
※来場者多数につき，5月15，17，18日に開館時間の延長を実施
2. 場 所：東京国立博物館本館特別5室
3. 展示品：キトラ古墳壁画四神のうち「朱雀」「白虎」「玄武」
十二支のうち「子」「丑」，副葬品等
4. 主 催：文化庁，東京国立博物館，東京文化財研究所，奈良文化財研究所，
国土交通省近畿地方整備局，奈良県教育委員会，明日香村
5. 共 催：朝日新聞社
6. 協 賛：岡村印刷工業
7. 特別協力：情報通信研究機構，大塚オーミ陶業，日本通運
8. 来場者数：119，268人